



5月1日 第87回メーデー中弘南黒地区集会で挨拶
来賓として出席された民進党の山内崇氏と社民党の加藤とし子氏も挨拶されました。



4月29日 日本共産党津軽後援会主催の「花見の会」行われる。
高橋ちづ子衆議院議員、よしまた洋参議院比例代表予定候補も参加。(坂本隆後援会長によるカンパイ)

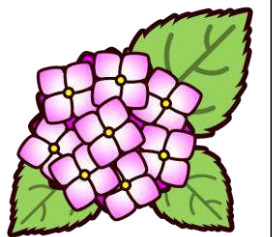


5月3日 憲法9条津軽女性の会
安倍政治を許さないスタンディングアピール。(右から2人目安藤)



新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員



4月から商工労働観光エネルギー委員会所属に！

●観光客宿泊者数及び外国人受け入れ体制の整備について
観光企画課長「平成27年は前年度の1.1.3%増の502万2800人泊となり、うち外国人は10万8180人泊で最大の数値となった。」と答弁。外国人観光客受け入れ整備については「誘客交流課長が「多い順から台湾、韓国、アメリカ、中国、タイで、これまでJR東日本と連携し世界最大規模の国際観光イベントでの誘客活動を展開してきた。円安も追い風になっている。」

●この他・本県における風力発電事業の状況と県の取組について・大間原子力発電所及びリサイクル燃料備蓄センターの原子力規制委員会における適合検査の状況等について
質しました。

●ブラックバイトから学生を守れ
県の労働相談での状況を質すと労働能力開発課長は「県内の労働者等の抱える問題について解決を図るために労働相談窓口を設置している。アルバイトについての労働条件等でのトラブル相談は過去5年間で2件あった。県としては広報媒体やセミナーなどを活用して労働相談窓口の周知を図っていききたい。」と答弁。

●今後看板・交通表示など受け入れ態勢の整備を進めたい」と答弁。

県議会「がん対策条例ワーキンググループ」メンバーに

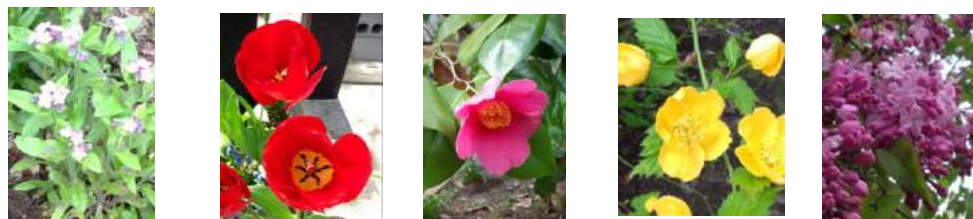
がん対策条例の議員提案に向けての超党派のグループに参加。現在研修を4回重ねています。4月27日には弘前大学医学部に出向き、弘前大学大学院医学研究科中路重之先生から「短命県返上活動とがん対策」と題する講義を受けました。本県は男性も女性もがんの死亡率が全国一高いのです。

メーデーで
野党共闘
はずみつけ
(はるみのワクワク川柳)

ほつとタイム 忘れな草

花粉症も大分おさまってきて美しい季節を心から楽しんでます。我が家の庭には小さな苗の時に買ったものや、知人友人からいただいた木や花が育ち、春のこの季節は色とりどりの花々が次々に咲き、心を満たしてくれます。雪が解けると同時に咲き出したのはクロッカス。なぜか黄色だったのがみな紫色に。3種類のスイセンの花、同じスイセンでもそれぞれの個性がいい。赤・黄色のチューリップが順繰りに咲いています。たった2つのカタクリの花が山の風をとどけてくれます。並んで咲いたムスカリは愛らしい。プリムラは4種類あり、どれもいただいた小さな鉢植えの物を咲き終ってから地植えにして増やしたものです。ユキヤナギ、ボケ、ドウダンツツジ、ヤマブキもそれぞれの思い出がつまっています。大きく育った木はコブシに始まり、ブルーン、椿、ハナミズキ、カイドウ、ライラックとそれぞれきれいな花をつけました。今は白い芝桜、忘れな草、山野草のエビネがきれいです。

右から順番に
ライラック・ヤマブキ・ツバキ・チューリップ・忘れな草



■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。4月の相談対応11件。